

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 3. 30 第 196 回国会第 6 号

3 月 30 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 内閣の重要政策に関する件、公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

・野田国務大臣、上川国務大臣、加藤国務大臣、石井国務大臣、菅国務大臣、小此木国務大臣、福井国務大臣、松山国務大臣、茂木国務大臣、梶山国務大臣、鈴木国務大臣、山田総務大臣政務官、堀井巖外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

玉城デニー君（自由）

- ・沖縄の日常生活における騒音等の米軍基地に起因する負担を軽減するために努力すべきとの考えに対する菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・辺野古新基地予定地周辺の海域に断層が存在する等の重大な地形上の問題点が指摘されていることに対する菅内閣官房長官の認識を伺いたい。
- ・国と地方公共団体との人事交流制度の利点について、梶山国務大臣に伺いたい。

- ・偽の資料を提出したのは、国政調査権に基づく国会の調査・審議を妨害し、ひいては国政調査権そのものを侵害するものと考えますが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・公文書管理において、電子データによる保存と管理を原則とするという方針を政府として確立すべきだと考えるが、梶山国務大臣の見解を伺いたい。
- ・マイナンバーで資産、所得を的確に把握し、代わりに申請なく適切な最低所得保障を給付するインフラを整えて所得を再分配することが必要だと考えるが、茂木国務大臣の見解を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・今回の森友学園に関する公文書改ざん事件は、国会の国政調査権を冒涇したとの認識の有無について、菅内閣官房長官をはじめ内閣委員会の所管に係る各大臣に伺いたい。
- ・幹部職員人事の一元管理の趣旨と具体的内容について伺いたい。
- ・内閣人事局設置に係る国家公務員法等改正に対し、内閣官房副長官を務めた古川貞二郎氏が述べていた官僚に対する政治家の恣意的人事が行われる懸念について、菅内閣官房長官の受止めを伺いたい。

柿沢未途君（希望）

- ・森友学園に関する国会からの資料要求に対し、財務省が

中川正春君（無会）

- ・政治分野に女性が参画することについて、どこにどのような問題があって、それに対して何をしなければいけないのか、野田国務大臣の見解を伺いたい。
- ・財務省の公文書改ざん問題について、国会の中に第三者も含めた独自の調査会を作るべきだと考えるが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・韓国が北朝鮮との話合いの糸口を見つける中、圧力だけの日本の対応は限界があると考えられるが、拉致問題についてどのような姿勢で取り組むのか、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・地方において少子化で保育園を維持することが困難になっている中、企業主導型保育園の認定において市町村の需要バランスに対応するスキームがないのは問題ではないか、松山国務大臣の見解を伺いたい。